

仙台空港における横田基地所属CV-22オスプレイの予防着陸について（要請）

令和3年9月28日、横田基地周辺市町基地対策連絡会を構成する自治体のウェブサイトにおいて、令和3年9月22日から27日にかけて北関東防衛局からの情報提供があったことが分かった。内容は、「9月22日、午後9時30分頃、米空軍横田基地所属のCV-22オスプレイ1機が仙台空港に予防着陸を行った。当該機は通常訓練の後、横田基地に帰投中に右側のエンジンに関して問題の可能性を感知したため、乗員が標準的な予防措置として仙台空港の管制官と調整し同空港に着陸し、陸上自衛隊の施設を利用した。その後、機体の安全が確認できたことから、同月24日、横田基地に帰投した」とのことである。

飛行中の機体のトラブル発生は、人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものである。

本年6月にも、横田基地所属のCV-22オスプレイが山形空港に予防着陸しており、トラブルの再発防止等を要請したが、このような事態が再び発生したことは、極めて遺憾である。

また、当市は横田基地に隣接はしていないものの、横田基地の航空機が当市上空を飛ぶ様子が毎日のように確認されており、市民からの低空飛行や騒音を訴える声も年々増加していることから、当市に対して情報提供がなかったことは、市民の米軍に対する不信感につながりかねない。

については、市民の平穏で安全な生活を守る観点から、下記のとおり要請する。

記

- 1 予防着陸に至ったトラブルの原因究明を行い再発防止の徹底を図るよう米軍に申し入れること。
- 2 横田基地所属航空機の点検整備を強化するとともに、安全が確認されるまでの間、CV-22オスプレイの飛行を中止し、安全確保の徹底を図るよう米軍に申し入れること。
- 3 1及び2に関する情報を当市に速やかに提供すること。
- 4 本件について、当市に情報提供がされなかった理由を明らかにするとともに、今後は、当市に対しても迅速かつ正確な情報提供を行うこと。

令和3年9月30日

防衛省北関東防衛局長 扇谷 治 殿

防衛省北関東防衛局横田防衛事務所長 和田 善徳 殿

あきる野市長 村 木 英 幸